

平成 26 年度 地産地消推進状況報告

平成 22 年 3 月に邑南町における地産地消推進の基本的なルールを定めた「邑南町地産地消推進条例」を施行してから、5 年が経過した。本報告は、邑南町地産地消推進条例第 8 条第 2 項の規定に基づいて、地産地消推進状況の平成 26 年度実績についてまとめたものである。

I 取り組みの成果

1. 重点推進項目

(1) 学校給食

①平成 26 年度実態調査

学校給食における町内産品の使用実態について、納入伝票のデータを基に実施

②金額ベース

単位：千円

品 目	H 2 6			H 2 5		
	仕入金額	うち町内産	町内産使用率	仕入金額	うち町内産	町内産使用率
米	3,823	3,819	99.9 %	4,019	4,019	100.0 %
野菜・果樹	11,947	2,720	22.8 %	11,302	3,077	27.2 %
牛 肉	1,702	1,659	97.5 %	1,641	1,577	96.1 %
豚 肉	1,100	1,087	98.8 %	1,614	1,400	86.7 %
鶏 肉	2,154	—	0.0 %	2,046	—	0.0 %
たまご	664	335	50.5 %	534	381	71.3 %
小 計	21,390	9,620	45.0 %	21,156	10,454	49.4 %
牛乳・乳製品	8,711	—	0.0 %	8,218	—	0.0 %
冷凍・加工品	21,035	222	1.1 %	19,791	163	0.8 %
合 計	51,136	9,842	19.2 %	49,165	10,617	21.6 %

※表中の記号… 0：単位未満、—：該当なし

平成 26 年度 地産地消推進状況報告

①重量ベース

単位：kg

品 目	H 2 6			H 2 5		
	仕入重量	うち町内産	町内産使用率	仕入重量	うち町内産	町内産使用率
米	12,052	12,047	100.0 %	11,443	11,443	100.0 %
野菜・果樹	27,237	10,199	37.4 %	27,572	11,360	41.2 %
牛 肉	495	476	96.2 %	587	551	93.9 %
豚 肉	932	925	99.2 %	1,269	1,057	83.3 %
鶏 肉	1,380	—	0.0 %	1,478	—	0.0 %
たまご	1,126	827	73.4 %	1,159	1,011	87.2 %
合 計	43,222	24,474	56.6 %	43,508	25,422	58.4 %

※表中の記号… 0：単位未満、—：該当なし

◎ 野菜・果物の納入割合

		H 2 6			H 2 5		
		農家・組合	産直市	商 店	農家・組合	産直市	商 店
金額(千円)		1,248	1,425	9,274	1,768	1,178	8,356
	割合	10.4 %	11.9 %	77.6 %	15.6 %	10.4 %	73.9 %
重量(kg)		4,580	5,338	17,319	6,112	5,039	16,421
	割合	16.8 %	19.6 %	63.6 %	22.2 %	18.3 %	59.6 %

※表中の記号… 0：単位未満、—：該当なし

② 学校給食の現状分析

- ・県の食材仕入れ状況等調査（調査対象期間：6月及び11月の第3週）の結果では、町の地場産物活用割合は、61.0%であり、平成25年度の55.5%及び平成26年度県平均57.0%を上回っている（地場産物活用割合は、食品数ベースで算出）。学校給食の食材を地元の新鮮な野菜でできるだけ多く賄うことを目標に、これからも産直市、法人及び個人農家からの地元産農産物の提供拡大に取り組む必要がある。
- ・地産地消コーディネーター事業では、タマネギやジャガイモ、ニンジンなど通年利用される作物の中から、これだけは地元でという一品産地化運動の取り組みの検討がなされている。
- ・地元産農産物で旬の食材を活用し、栄養バランスや地産地消にこだわった給食メニューの提供に努めている。給食メニューの統一化も視野に入れた取り組みを検討しながら、今後もふるさとの味覚を子どもたちに届けていく必要があると考える。

平成 26 年度 地産地消推進状況報告

(2) 木材利用

① 公共建築物での町産材利用

新築の公共建築物 4 施設のうち 4 施設において構造材等の一定割合について、県産材・町産材使用を指定し、施設の建設を実施した。

《平成 26 年度新築の公共施設の木材利用状況》

施設名	延床面積 (㎡)	木材使用量 (m ³)			備 考
		全 体	うち県産材	うち町産材	
矢上小学校 多目的集会施設	478.20	102.74	51.40	27.91	集成材以外の構造材・造作材は 県産材を 70%以上指定そのうち 町産材 50%以上を指定
日貫若者定住住宅 2号団地 7号棟	137.98	34.99	34.99	34.99	構造材は町産材 80%以上を指定
日貫若者定住住宅 2号団地 8号棟	137.98	33.58	33.58	31.95	構造材は町産材 80%以上を指定
食の学校	142.00	10.81	10.81	0.51	木材は県産材 50%以上を指定

② バイオマス活用に向けた木材利用

平成26年度も木材のバイオマス活用に向けた取り組みとして、林地残材搬出支援実験事業を引き続き実施し、8名の方が新規登録をされ、16名【個人】で 190 t を搬出【過去最高】。

(3) 堆肥活用

① 循環型農業の確立を図るため町内産堆肥利用

平成26年度も循環型農業支援事業に向けた取り組みとして、町内産堆肥の購入費用の一部を助成し、有機農業を推進し、3,606 t、3,592千円を助成。また、飼料用稲作付圃場への堆肥散布により、地域で産出される牛糞堆肥を地域内の圃場へ還元した。飼料用稲作付面積は52ha、1,026 t の堆肥を散布した。

平成 26 年度 地産地消推進状況報告

II 活動状況

1. 地産地消推進本部

(1) 地産地消推進本部(庁議)

開催日	内 容
8 月 25 日	・地産地消推進に関する状況の取りまとめ及び公表について確認 平成 25 年度の状況の確認

2. 地産地消推進協議会

(1) 専門部会

① 学校給食部会

開催日	会議名等	内 容	関係者
7 月 23 日	第 1 回部会	地産食材活用（冷凍加工）事業の実施	学校給食会 栄養教諭
8 月 26 日	第 2 回部会	学校給食連絡会 ・調理上においての問題・課題の事前把握 ・学校給食会予算について ・学校給食の統一メニューの推進について	学校教育課 学校給食会 栄養教諭
8 月 27 日	第 3 回部会	職員研修の実施 演題「学校給食における異物混入事案と衛生 管理について」 講師 出雲保健所 食品衛生機動監視課 主任技士 原 彩香 氏	学校教育課 学校給食会 栄養教諭
10 月 23 日	第 4 回部会	学校給食連絡会 ・学校給食会予算について ・異物混入対応について ・台風等緊急の場合の対応について	学校教育課 学校給食会 栄養教諭

平成 26 年度 地産地消推進状況報告

② 木材利用部会

開催日	会議名等	内 容
4 月 4 日	地域材利用の 取組みについて	島根大学 学生市民交流ハウス 竣工 寄贈 株式会社 日新……………L V L 単板積層材 株式会社 出雲木材……………P l w o o d 合板 有限会社 日高林産……………C L T 直行集成板
5 月 15 日	第 1 回 町産材利用促進 協議会【全体会】	部会方式による検討 木材の流通（安定供給）について 木材の利用拡大及びPRについて
5 月 17 日	木で、 未来をつくろう！ in 島根県	『地域材の利活用の促進に向けて～国の木づかい施策等～』 新島俊哉（林野庁森林整備部整備課長） 『木育で、木の新時代を！from 島根』 山下晃功（島根大学名誉教授教育学部特任教授） 『島根県における地域材利用：現状と未来』 パネルディスカッション
6 月 20 日	木材利用 推進セミナー 広島会場	『広島県の木材利用状況や取組み』 広島県農林水産局林業課 主幹 寺田一之 『C L T の紹介』 一般社団法人 日本C L T協会 井口皓介 『耐火技術や曲線・曲面による木造技術』 株式会社シェルター 取締役営業開発部長 安達広幸
8 月 28 日	第 2 回 町産材利用促進 協議会【全体会】	江の川共販拡張工事経過報告 町行造林林地残材の採取の届け出 部会方式による検討及び報告 流通部会 利用拡大部会
9 月 3 日	地域利活用研修	鳥取県日南町 視察先 日南町役場 子育て支援センター ㈱オロチの製造工場

平成 26 年度 地産地消推進状況報告

② 木材利用部会

開催日	会議名等	内 容
9 月 22 日 ～ 9 月 23 日	しまねWOOD フェア 2 0 1 4	県内の木材関係業者の展示会・品評会・意見交換会 邑南町 日高林産…目隠しウッドフェンス 石見林業…フローリング
10 月 11 日	しまね木造塾	『島根大学学生市民交流ハウス F L A T の設計について』 小 林 久 高 『プレカットの現状・木質建材・構造金物などについて』 戎 屋 卓 夫
10 月 23 日	地域木材産業活性化講演会	『国産材はなぜ売れなかったのか』を明らかにすることで 見えてきた地域の製材業が目指すべき方向性 萩 大陸（成美大学教授）
11 月 8 日	しまね木造塾	バイオマス燃料生産工場見学会 須佐チップ工業（有）松江工場
11 月 10 日	木材利用推進 セミナー	『木材・木造建築物の大きなうねり』 有 馬 孝 禮
11 月 20 日	耐火木造ホール 構造見学会	日本最大の耐火木造ホール 『南陽市新文化会館』構造見学会

平成 26 年度 地産地消推進状況報告

② 木材利用部会

開催日	会議名等	内 容
11 月 27 日	第 3 回 町産材利用促進 協議会【部会】	部会方式による検討及び報告 利用拡大部会【いこいの村しまね 視察】
12 月 24 日	林業講演会	岐路に立つ日本の森林・林業・木材産業』 遠藤日雄【鹿児島大学 農学部 森林政策学研究室】
1 月 17 日 ～ 1 月 18 日	島根 ふるさとフェア	島根ふるさとフェア 2015 に出展 島根県産木材、邑南町産木材、間伐材を使った商品等 の販売を行う。
1 月 29 日	第 4 回 町産材利用促進 協議会【部会】	部会方式による検討及び報告 流通部会
2 月 27 日	第 5 回 町産材利用促進 協議会【部会】	流通部会 研修会参加 木造建築・木質建築の現状とこれから 『都市木造の可能性』 腰原幹雄 外
3 月 27 日	第 6 回 町産材利用促進 協議会【全体会】	邑南町木材利用行動計画の更新について 邑南町産材利用促進に関する提案書について 江の川共販拡張工事経過報告 部会方式による検討及び報告 流通部会・利用拡大部会 邑南町産材利用促進に関する提言書（案）について